地域連携推進会議　議事録

1、日程・場所・出席者

開催日	令和 8 年 11 月 10 日	時間	13：30～15：30	場所	船堀タワー会議室 405
出席者	利用者様	S・T 様（サクレ江戸川 5 棟）	利用者ご家族様	サクレ 7 棟利用者ご家族様（急遽仕事の都合等で不参加）	
	地域代表者様	松江 2 丁目町会・山本氏	事業所職員	長澤、下敷領、徳廣、櫻井	
	自治体参加者	江戸川区役所福祉部障害福祉課事業係　松田氏、小倉氏			

2、理念の確認

法人理念	使命：わたし達は、みんなで幸せになる社会創りを使命とします 挑戦：わたし達は、挑戦者です 価値：わたし達には、ゆるぎない価値基準があります
法人目標	日本一の社会的企業
事業部目標	障碍者事業で規模・質ともに日本一
支援の基本理念	・支援される部分を少なくし、自分のできる部分を増やすこと ・障碍の部分は社会資源を活用して補完し、自立へ導くこと

3、地域連携推進会議の目的

理解促進	グループホームの役割や入居者への支援、日々の暮らしを地域の方に知ってもらうこと。地域の行事や情報を共有し、地域住民・町会・行政・施設関係者が意見交換する機会とすること。

4、会議の流れ

①出席者紹介
②事業所説明・動画視聴（概要、支援内容、第三者評価結果報告）
③欠席ご家族からのメッセージ代読・共有
④議題についての話し合い・意見交換
⑤質疑応答・まとめ

5、議題と話し合いの内容

議題	話し合いの内容	備考
グループホーム「サクレ江戸川」の概要と支援・住居形態	・動画にて GH の概要、支援内容（食事、掃除、洗濯、金銭管理、服薬、通院同行等）を説明。 ・地域内 6 拠点、定員各 5～10 名、約スタッフ 30 名（夜間専従 14 名）。 ・共同タイプとアパートタイプがあり、本人の自立度に合わせて選択・移行する仕組み（S さんの事例等）。	

議題	話し合いの内容	備考
	・食事や服薬支援等も利用者様の状況やユニットの形態に応じた柔軟な支援を行っている。	
構造化支援と自立に向けた工夫・成長事例	・「人を変えるのではなく環境を整える」構造化支援（物理的・視覚的・時間的・作業構造化）を紹介。給湯リモコンや洗濯機のボタン視覚化による自立事例共有。 ・S さんのエスプリドゥでの就労や部屋掃除等の取組。 ・欠席ご家族からのメッセージを代読。ASD・軽度知的障害のある 40 代男性利用者が、サクレ江戸川入居後の 3 年間で朝自力で起きられるようになり、遅刻せず就労継続（エスプリドゥでのパン・菓子製造等）できるまでに成長した歩みを共有。	家族メッセージ配布資料・構造化支援資料を参加者へ共有
福祉サービス第三者評価の結果報告と改善策	・3 年に 1 度の任意受審である第三者評価（2024 年度調査：回答 43 名）の結果報告。総合満足度は肯定回答 72%（前回より 5pt 上昇）。 ・障害特性に応じた受入体制や専門的支援、独自のアセスメント・振り返り面談等が高く評価された。 ・今後の改善案として、職員の関わり方・コミュニケーション、トラブル対応、プライバシー配慮、相談体制の見直しを提示。	2027 年に次回受審予定
GH の利用費用・職員配置・管理体制	・家賃、家賃助成、共益費（水光熱費・日用品費）、食事代等の費用面について説明。 ・女性ユニットへの女性職員配置や夜間体制、多様な職歴の職員構成について説明。 ・共同生活における摩擦防止策、苦情・不満への誠実な対応、金銭管理の透明性（複数人確認・細かな算出）について共有。	
地域行事・防災・地域との連携	・地域の行事（夏祭り・盆踊り、運動会、太鼓練習、12/6 餅つき行事など）や回覧板等の情報共有。 ・事業所の年 2 回の施設避難訓練に加え、11/15 開催の松江小・船堀小・鹿骨中での「防災フェスティバル」（4 町会・区役所主催）の案内と参加検討。	12/6 餅つき・施設訪問の調整要 11/15 防災フェスティバルに参加
公共の場での障害理解と地域の安心感	・公園で子どもを眺めていた利用者への地域住民からの不安の声や、スーパー前の立ち止まり事例を共有。 ・外見から分かりにくい障害への理解普及、ヘルプマークの活用、本人	継続的な課題として対話を推進

議題	話し合いの内容	備考
	への声かけ・マナー指導、支援者同行などの対応案が出された。	

６、事業所見学

事業所	見学日実施	ご意見
サクレ江戸川２棟	令和 8 年 11 月 10 日	松田氏、小倉氏 居室は十分な広さが確保されており、浴室や浴槽も清潔に保たれ、各所に洗面設備が整っているとの感想があった。 浴室の利用順や共有スペースの生活用品の区分けなど、視覚的に分かりやすい工夫がされている点も好評であった。 また、緊急時の連絡先が各階の見やすい場所に掲示されており、安全面への配慮も感じられた。 施設周辺には駅やスーパーがあり、交通アクセスや日常生活における利便性が高いとの意見があった。 全体として、利用者が安心して快適に生活できるよう、設備や環境面にさまざまな配慮がなされているとの感想をいただいた。
サクレ江戸川３棟	2026 年　年内で調整中	松江 2 丁目町会・山本氏が見学予定

７、次回地域連携推進会議の日程

令和 9 年度は、福祉サービス第三者評価受診予定

８、備考

項目	内容

以上